

経営比較分析表（平成30年度決算）

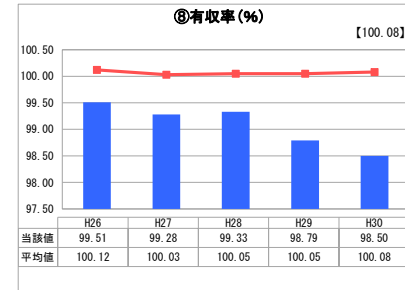
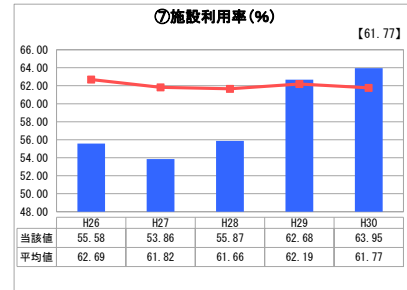
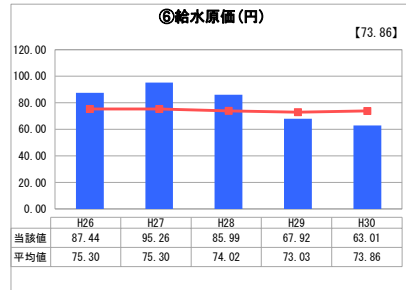
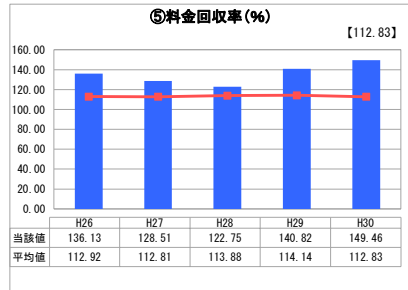
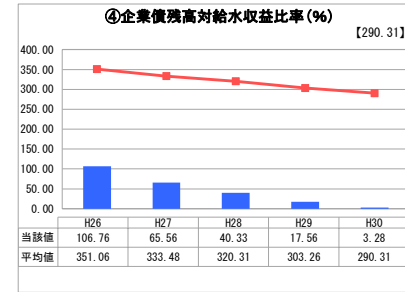
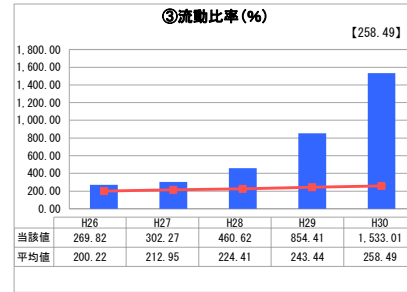
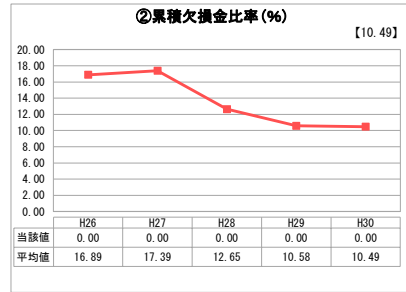
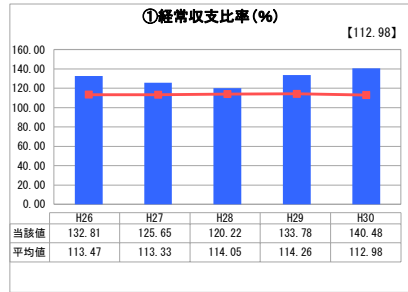
福島県 会津若松地方広域市町村圏整備組合

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	98.63	93.22	0	

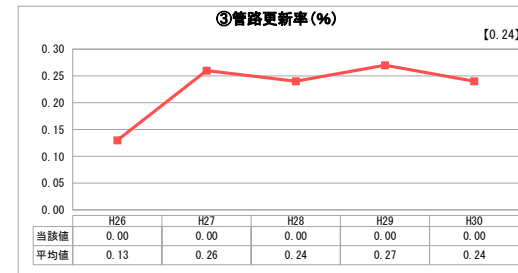
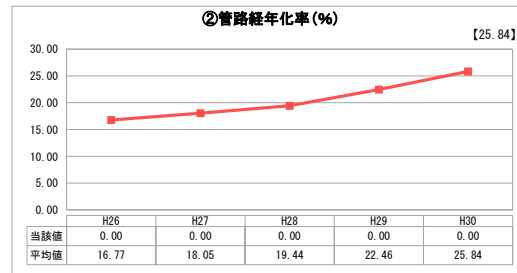
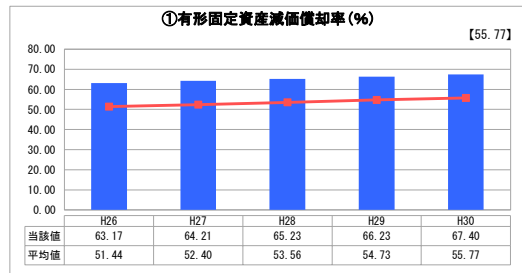
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
148,681	232.85	638.53

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常利益は黒字で、経営収支比率は、100%を超えており良好といえる。
- ・企業債残高は、年々減少し平成31年度に完済の予定。
- ・流動比率は、100%を超え支払能力は十分といえる。
- ・施設利用率は、前年度より一時的な使用量増加のため、上昇しているものの、全体的には、節水型機器の普及や人口減少に伴い、減少傾向にある。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、全国平均を上回っており、施設の老朽化が進んでいる。
- ・管路については、経年率は上昇傾向にあるものの、まだ耐用年数に達していない状況にある。

全体総括

- ・概ね、財務内容は健全性が確保されていると考えられる。
- ・施設の老朽化及び耐震化については、長期財政計画（10ヶ年計画）において、長寿命化（施設更新）計画及び施設耐震化計画を定め、順次対応しているところです。
- ・更に将来を見据え、アセットマネジメントを活用し、社会情勢の変化に対応した計画的な更新を進めていく必要がある。
- ・管路については、耐用年数に達してはいないものの、今後、更新へ向けて、方向性を検討していく必要がある。